

『2 ページで理解する 標準薬物治療ファイル 改訂 4 版』正誤表

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。

当該書籍に以下の誤りがございました。

深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

■74 ページ 「37 不眠障害」

「治療アルゴリズム」の図

【誤】

文献1より改変

【正】

文献5より改変

■146 ページ 「37 不眠障害」 文献

【誤】

1) 厚生労働科学研究・障害者対策総合研究事業「睡眠薬の適正使用及び減量・中止のための診療ガイドラインに関する研究班」ほか編：睡眠薬の適正な使用と休薬のための診療ガイドライン（2014年7月22日更新）。〈<https://jssr.jp/guideline>〉（2022年8月閲覧）

【正】

- 1) 高橋三郎ほか監訳：DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル。医学書院，2014。
- 2) Spielman AJ, et al: A behavioral perspective on insomnia treatment. *Psychiatr Clin North Am*, 10: 541-553, 1987.
- 3) Van Gastel A, et al: Drug-Induced Insomnia and Excessive Sleepiness. *Sleep Med Clin*, 17: 471-484, 2022.
- 4) Buysse DJ: Insomnia. *JAMA*, 309: 706-716, 2013.
- 5) 厚生労働科学研究・障害者対策総合研究事業「睡眠薬の適正使用及び減量・中止のための診療ガイドラインに関する研究班」および日本睡眠学会・睡眠薬使用ガイドライン作成ワーキンググループ編：睡眠薬の適正な使用と休薬のための診療ガイドライン（2014年7月22日更新）。〈<https://jssr.jp/guideline>〉（2022年12月閲覧）

- 6) Richardson GS, et al: Tolerance to daytime sedative effects of H1 antihistamines. J Clin Psychopharmacol, 22: 511-515, 2002.
- 7) Cluydts R: Zolpidem 'as needed': methodological issues and clinical findings. CNS Drugs, 18 Suppl 1: 25-33; discussion 43-45, 2004.

2023年4月現在